内容の無断転載を固く禁じます

防災・ＢＣＰアップデート講座（6）

非常時優先業務の選定②

BB.univ
日本の防災・BCPをアップデートする

【講師略歴】

BB.univ 学長　WOTA株式会社　防災・ＢＣＰ担当室長　森 健

・1966年東京都出身。開成高校・慶応義塾大学法学部卒業。
・静岡県下田市役所、静岡県庁防災局出向（現：危機管理部）を含め、
約12年間地方自治体で実務経験を積む。その後企業へ転職。
・自動車部品グローバルメーカーである住友電装株式会社において
グローバルなリスク管理体制の再構築を手掛けるなど、
複数社で管理職としてリスク管理・危機管理の指揮をとる。
・2019年９月よりWOTA株式会社総合企画室長に着任。
・2020年９月よりＢＢuniv学長に就任。
・2021年４月よりWOTA株式会社防災・ＢＣＰ担当室長に着任。

ＢＣＰの高度化・レベルアップ
～非常時優先業務の整理方法を中心に～

１．非常時優先業務整理の前に
２．部局内優先順位と全庁的優先順位
３．職員の参集想定との関係性
４．大規模災害をイメージした整理の視点

１．非常時優先業務の整理の前に①

- 現在の業務管理体制を次の視点で
  確認する必要がある。

  １）各職場の業務分掌表は正確か？
  （行政組織規則上の所管業務、
  実際に運用・担当している各課の業務、
  毎年度更新される業務分掌表の
  ３者の整合性はとれているか？）

１．非常時優先業務の整理の前に②

- 現在の業務管理体制を次の視点で確認する必要がある。

２）業務分掌表の主担当・副担当の関係は機能しているか？（副担当は、主担当のバックアップができる態勢か？
重要業務のマニュアル作成は？
事務引継ぎは機能しているか？）

１．非常時優先業務の整理の前に③

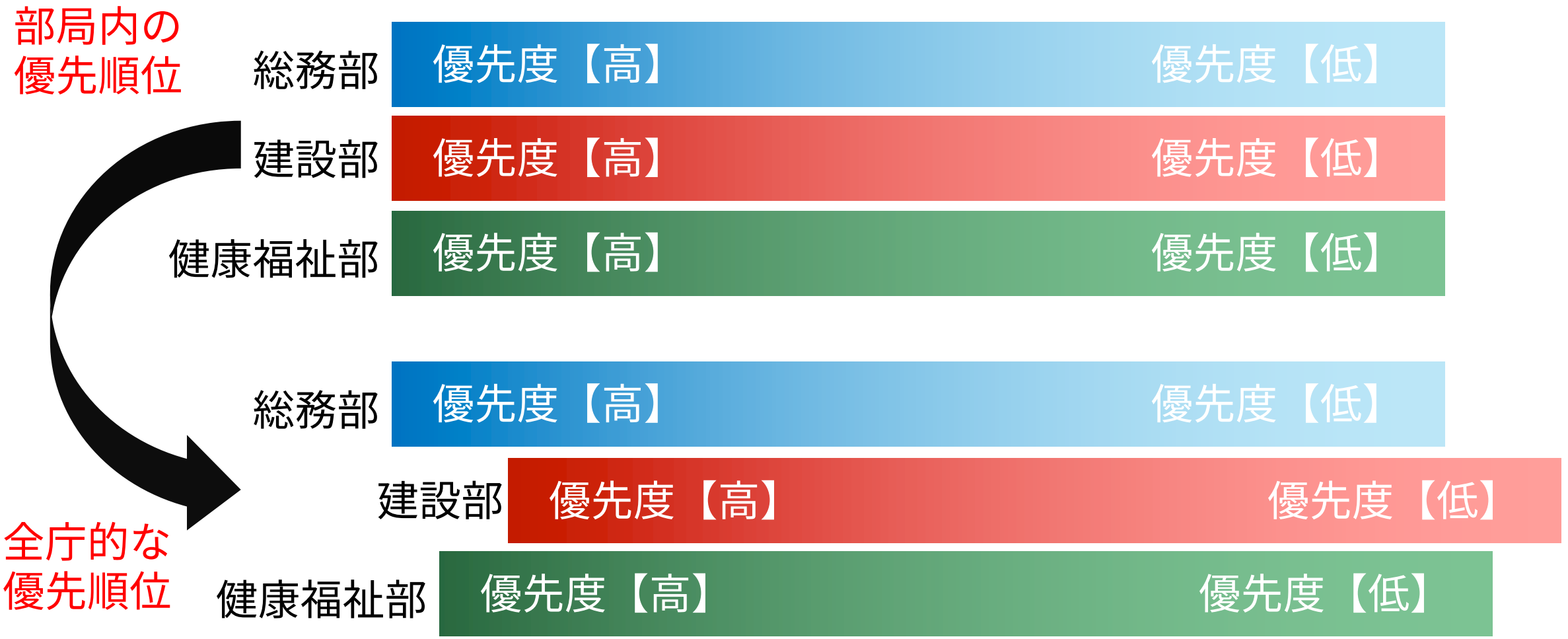
- 現在の業務管理体制を次の視点で
  確認する必要がある。

３）職員の「異動履歴」を整理しているか？

（災害時には全庁的に、部局横断的な職員の相互応援が必要になる。
その際には、実務経験の有無に関する情報は非常に役に立つ）

２．部局内優先順位と全庁的優先順位

～全庁的（戦略的）視点を忘れない～



３．職員の参集想定との関係性

参集時期	人数（想定）
～発災後３時間	総計１５人
３時間～１２時間	総計４０人
１２時間～１日	総計４５人
１日～	総計５０人

優先度【高】	優先度【中】	優先度【低】
必要人数	必要人数	必要人数

- 職員参集想定と業務別必要人数の比較
- 参集割合別の対応範囲（例：全職員の１割が参集した場合の対応範囲）の視点

４．大規模災害をイメージした整理の視点

自団体の
対応戦略

災害発生
（発災）

初動対応
（応急対策）

通常体制移行
（復旧・復興）

＋

関係団体と調整、支援要請、受援計画発動、日々の要員管理

大規模災害時の
戦略オプション

支援要請
（要請・調整）

応援受入
（調整・指揮）

要員管理
（交替調整）

非常時優先業務に関するまとめ

日々の組織管理・業務管理の点検強化

全庁的な視点・戦略

大規模災害への備え

＋

臨機応変の対策本部活動
（指揮命令、組織運用、危機管理のセンス）

内容の無断転載を固く禁じます

ご清聴頂きありがとうございました。

アンケートにお答えいただいた方に、本日の資料を配布しております。
今後の情報発信に役立てるためにも、ぜひご協力ください。

BB.univ
日本の防災・BCPをアップデートする